

PET-CT 検査を受けられる患者の皆様へ

検査上での注意事項です。予めよくお読みください。

1. 来院時間について

- ・ 当日は予約時間の 30 分前までに岩手医科大学附属病院（矢巾）1 階新患受付にお越し願います。
- ・ 予約時間には遅れないようご注意ください。
予約後、来院できない場合や検査をキャンセルされる場合には前日（前日が休診日の場合はその前の診療日）の 12 時までにご連絡をお願いします。この検査に使用する放射性医薬品は患者さん毎に薬剤メーカーから購入しております。さらに、使用期限が極めて短いため、急なキャンセルや検査時間に遅れることがあると使用できなくなります。場合によってはキャンセル料（放射性医薬品購入費用）をお支払いいただくことがありますので、ご注意をお願いします。

2. 検査前日及び当日の過ごし方等について

- ・ 検査前日と当日は、激しい運動（長時間の歩行等）をお控えください。
- ・ 検査前は 4 時間以上の絶食が必要です。
- ・ 心サルコイドーシスの検査の場合は 18 時間以上の絶食と、最後の食事を低糖質、高脂肪食にする必要があります。ご不明の場合はお問い合わせください。
- ・ 検査直前まで、水、お茶は差し支えありませんが、糖分を含んだジュース等とはならないでください。
- ・ 検査当日の糖尿病の血糖降下薬やインスリン注射については主治医にご確認ください。
- ・ 上記以外のお薬は、内服していただいても結構です。
- ・ 持続血糖測定器を装着の方は検査を実施できないので事前に取り外しをお願いします。
- ・ 注射から撮影開始までは、ご案内するまで待機室でお待ちください。
- ・ 検査撮影終了後は会計を済ませ、速やかにお帰りください。
- ・ 検査終了後 12 時間は、妊産婦、未成年の方との接触をお控えください。

3. PET-CT 検査について

(1) 検査の方法等

ブドウ糖に放射化したフッ素（ ^{18}F ）を付けた FDG という薬を静脈注射し、1 時間程度安静にいただき、その後 30 分間全身を撮影します。このとき、上向きで寝

ていただくことが必要です。検査は安静に寝ているだけで終了します。なお、必要に応じて遅延相撮影（約 20 分）を行う場合があります。

(2) 検査の限界

がんの種類によっては、見つかりにくいものもあり、正確な診断ができないことがありますので、予めご理解願います。

(3) FDG の安全性と副作用

今回の検査では放射性医薬品による被ばくと、CT による被ばくを受けますが、今回の検査による被ばくで有害事象が発生するリスクは低いと考えられます。FDG の静脈注射による副作用としては、軽度のアレルギー反応の報告がありますが重篤なものはほとんどありません。

(4) 検査後の注意事項

FDG は主に尿として排泄されますので、検査終了後は水分を多めに摂取し、ご帰宅いただきます。また、検査後は自宅でいつも通りの生活をしていただいて差し支えありません。授乳については、検査後 24 時間は控えてください。

(5) 付き添いについて

日常生活において介助を必要とされる患者さんには、検査の間どなたかの付き添いをお願いしています。付き添いのできない場合は、安全に検査を行うことができないため、検査をお断りすることがあります。また、付き添いの方も少量ですが被ばくを受けます。妊娠の可能性がある方、妊産婦、未成年の方を連れた受診はお控えください。

(6) その他

PET 検査の 1 週間前はバリウムを用いた検査（胃透視、注腸検査）は控えてください。30 分上向きで寝ることができない患者さんは、岩手医科大学附属病院 核医学 PET 受付までご相談ください。